明治四十三年十月十五日發行
毎月一回十五日發行
明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可

婦人新報

第百六十號

日本基督教婦人矯風會

婦人新報第百六十號

目次

○社說

○家族制度に對する觀念　江原素六君

○生命を重ずるものは宜しく禁煙すべし　醫學博士　北里柴三郎君

○酒は米の水に非らず　松野喜藏君

○家庭欄

○未成年者の喫酒禁煙につきて　大隈伯爵

○禁酒の勵行は法律の力よりも婦人の力を俟つや大なり　島田三郎君

○都下女學生の特長　嘉悅孝子

○誤りたる衞生法　北里醫學博士

○ストラウト女史を送る

○ヤングメン女史の永眠を悼む　水野菊子

○文書課より　安井花子

○青年部欄

○內外通信

本部、大阪、豐浦、靜岡、宇都宮、門司

社告

◎婦人新報定價（郵稅共）

一部（前金）	金六錢
六部（前金）	金三十五錢
十二部（前金）	金七十錢

（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字）	金十錢

明治四十三年十月十四日印刷
明治四十三年十月十五日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　横倉ヒデ

發行所　東京府豐多摩郡澁谷村
元青山南町七丁目一番地
婦人新報社

編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町六番地

No. 160.　　October 1910

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. Reware to have a strong Conviction for a home institution.
2. Fight against Pr'n e Narrotir e!
3. Sake is not water made of rice.
4. Home Dept·
5. Miss Strout at the Shinbashi depot.
6. Eternal relief of Miss Youngman in victory.
7. Y. Branch.

W. C. T. U. News.

Head quarters, Osaka, Toyoura, Shizuoka, Utsunomiya, Moji.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70 sen per Annum.　Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社説

◎家族制度に對する觀念

○家族の發達は國家の進歩である

第一　家族とは社會の一にして、社會其ものよりいふときは最も小さきものである、即ち其最も大なる社會は全世界にして、其大小社會の中間にある社會は即ち國家である、この最も小さき家族といふ社會が大中なる兩社會に大關係を有するのである、何となれば其國家に屬する凡ての家族が、理想的に、圓滿に且つ確實に發達して其發達したる家族の集りたる者が國家の發達となるのである、家族の發達を圖らずして、國家の發達は出來るものではない、ハーバート、スペンサー曰く、國家の行ふべき改革は個人の努力によりて行はれ得る程度にまで進み得るものゝみに向つて試むべしと、

即ち古來大政事家が、國政の改革に効を奏したる例は少く有らぬが、其實は當時の民度を酌量して、實行したる部分だけ効を奏して、智力權力のみによりて爲したる改革は、久しからずして反動を起し、時としては、其適當なる者まで、廢せられたる例も少くは有らぬ、

例へば昨年宗像廣島縣知事は、縣下の苗代田を短册形制にすべしとの縣令を發した、即ち蟲害は苗代時代に驅除するにしかず、其驅除に便せむが爲には短册形苗代の便利なることは最も見易きことである、然るに農民は非常に不服を唱へ、遂に某代議士などが竹鎗蓆旗の先頭となりて、縣廳を襲ふといふ騒ぎとなり、宗像知事も止むなく其縣令を取消されました、

又奥羽諸縣に於ては、從來苗代に使用せし田は翌年まで明けて置くのである、縣知事は明け置かずして稻を植ゑろとの命令を下した、これ又非常の沸騰となりて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

縣會議員はじめ殆んど一致を以て之れが取消を知事に迫つたのてある、

然るに他縣に於ては、人民自ら苗代地を明けて置くことなく、又短册形苗代も、農民の大多數は自ら之を實行して居るゆゑに一度縣令が出づれば容易く其普及が出來るのてある、即ち國家をして理想的に發達せしめんとせば、先づ家族の發達を圖らねばならぬことは智者を俟たずして知る所てある、然らば家族制度に對する吾々の觀念は決して輕々の問題ては有らぬ、

○個人の尊重は引いて家族の健全てある

第二　家族は國家の單位といふことて有る我が國ては曾て大名華族を以て國家の藩屏として、之を尊だが、今日に於ては吾々の家族こそ、眞に國家の藩屏てある即ち國家の費用を負擔することも、戰爭に際して、國家の干城となることも、槪して我々平民て有る、然らば則ち吾々平民たるもの、自ら家族に對する義務の甚だ重きことを益自覺すると共に、行政官、立法官、敎育家、宗敎家も亦大に家族制度に重きを置かねばならぬ、

去ながら家族を以て國家の單位なりといふと青年のうちには、不愉快を感ずる者も有ませう、即ち吾々個人の價値を滅却するものてある、即ち吾々一個人は、社會の單位てある、この貴重なる人格を滅却するのてあると、成程吾々個人は、人類社會に對しては、全く單位として自他共に尊ばねばならぬ、即ち吾々人類は、賢不肖老幼男女貧富貴賤を問はず、義理を解する總ての者より人として尊敬さるべき權利を有して居るのである、故に君父と雖ども、吾々人類を奴隷に賣買し、又は不道德の方法に使用することは、絕對に許さゞるのみならず、自己の自由を以てするとも、人類たる資格を破棄して動物的となすことは許さぬのてある、

故に自國の民が故なくして、他國人に殺されまた辱しめられたる時は、國家は干戈に訴へても、これが解決を躊躇しないのてある、この場場に於ては、個人の價

値は無量にして、人の生命は全世界よりも重しといふのて有る、

去ながら國家に對しては、家族は理性と德義と愛情とを以て、一致團結する所の法人としての單位てある、又形體上の事實より見るとチエスタートンの說に家族は國家の縮圖にして、國家は家族の擴大したる者なりといふ如く、實に家族の中には、一方には、老衰又は虛弱にして、保護を要する弱者もあれば、保護を以て自ら任ずる强者もあり、一方には愛を求るに切なる子供があれば、他には之に與へずんば已まざる親がある、一方には生存競爭の苦鬪惡戰に疲れたる男子あれば、他には之を慰めて活氣を與うる妻があるなど、國家的各種の要素が殆んど備つてをるのてある。

○家族は神聖なる法人であるべきである

第三　家族といふ法人はいかに組織すべきか、吾々が營利的株式會社を組織するすら株主の資產、人格及び其法人後來の利害につきて、深く考ふるのてある、まして家族てふ神聖なる法人を組織するに當ては謹嚴なる注意を要することは申すまてもない、即ち其家族の平和幸福發展と子孫の永續等悉く其選擇の當否によりて決するのてある、

即ち結婚は家族制度の基礎てある、故に儒敎に於ては、夫婦の天地の大道、人倫の始めなりと、又歐米に於ても、結婚は理想と愛情と、智慮との裁決によりて定めねばならぬといへり、若し智慮ばかりに傾きて、其財產、其親類の性質等凡て物質的のみに傾くときは溫かき愛情即ち幸福の要素を缺くに至る、去りとて理想と愛情とのみにて結婚する時は、身分の釣合、敎育の程度、財產の有無、先方親族の人格など、少しも考へぬ樣になり、甚しきは貧しき生活が理想的生活の如くに考へ、久しからずして失敗の慘狀を生ずるものてある、人は生活に窮せざるも、圓滿の家庭を治むることは容易いことてはない、况んや貧窮なるに於てをやてある、西洋の諺に、今日の愛せざるは、先に甚だ愛し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

過ぎたるによるといふことが有る、故に理想と愛情と智慮の調和と、父母と媒酌との説に重きを措くことは、其失敗を少くするに安全の道であるといへり、即ち父母は其子の性質を知ることは、時としては、其子自身よりも委しきことが有る、即ち子を見ること親にしかず、其子が生るゝや、すぐに其子の性質に注意するのみならず、數年の經驗をも有して居るのである、故に最後の決斷は、父母の意見を問ふことは大切て有る、故に歐米に於ては、青年男女は、父母の許しなくして決して男女の交際は出來ぬのである、就中青年女子は、いかなることが有つても、獨りで他出することはゆるさぬ、結婚も多くは、父母が其配偶を豫選するのて有る、何となれば、青年は一時の愛情に驅られて生涯を誤ることがあるからてある。

○家族維持の精神は積極的てなければならぬ

第四　家族維持の精神は勿論積極的てなければならぬ、親より讓受けの財產を維持するのみてなく、正義勤勉儉約を以て、大に之を增加してまた之を己の子孫に讓り、子孫をして己れより高き生活をなさしめんとすることゝ、子孫をして己より道德知識をも高尙ならしむる爲に能く精神教育を施さねばならぬ、然らざれば所謂金を積んて子孫に遺す、子孫之を守る能はず、書を積んて子孫に遺す、子孫之を讀むこと能はずとなるのである孔子が言ふは易くして行ふは難しと誡められたるごとく生活をして驕奢に流れず吝嗇に陷らぬ樣にすることは頗る注意を要すべきてある、川柳に三代目伊勢屋の門に初鰹といふごとく、兎角財產を與ふると奢侈の誘惑に陷り易きものである、さりとて徒らに儉約するのみては消極的となり吝嗇となりて發達を害するものである、土耳の諺に、馳るより徐かに步め、步むより腰をかけろ、腰をかけるより横に寢ろ、横に寢るより眠れ、眠るより死ね、といふことが有る消極的の最後は衰亡て有る。

家庭に於て、これらの觀念が理想的に能く發達してを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るときは、其子女は先天的に家庭觀念を有して、無遠慮に親の脛をかぢることなく、誠實なる生活を愛し、學費を濫用し、又は墮落することもなく、自己家族の禍福に責任を有し、男女の德操をも愼しみ、期せずして勤勉となり、從來圓滿なる家族を支へんとする精神となり、併せて國家の富となるのである、歐米の工業社會でも、家族ある職工は、槪して勤勉で有る、故に事業の進步が早いのである、日本でも鐵道其他職工場に於て獨身者は有妻者に比して缺席遲刻又は警察事故が多いといふことである、中流以上の人でも家族を有する者は、獨身者より勤勉である、何となれば獨りて生活するよりは更に餘計の働をせねばならぬからで有る、故に家族は國家の富を增す基礎で有る、しかしながらこれらは尙ほ小問題で有る、家族は、人類社會に一大必要なる潔き愛情、同情克己、謙遜忍耐等有ゆる人道の發達する所で有る、ラスキンのいふ如く學校にて敎ゆる所の道德即ち親子夫婦兄弟親族朋友に對する問題は悉く家族の中に具はつてをる故に國民の品性を高尙に發達せしめんとするには必らず家族の力を要せねばならぬのである。(以下次號)

◎生命を重んずるものは宜しく禁煙すべし

醫學博士　北里柴三郎君

○疲れたる時に何故喫煙して爽快を覺ゆるか

煙草の中にはニコチンと云ふ一種の刺戟するものが含有せられて居る、恰もアルコールやモルヒネの樣な働を持つて居るから、一時爽快を覺ゆるのである、勿論科學上アヘンと其質を異にし、中毒する點も又異なつて居るが、兎に角このニコチンが心臟の働に刺戟を與へ腦に血液を盛に循環せしめて、一時的の爽快を與ふる事は、アルコールの一時的興奮やモルヒネの痲醉せしむるのと少しもちがはない、さて此の一時的爽快を覺ゆると云ふ事が實に危險なのである、支那人や朝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鮮人が、あの恐るべきアヘンを多量に喫すのを見る人は、恐らく戰慄する事であらう、此等の人々は初めから、斯様に多量に用ゐたのではない、最初は甚だ少量てあつたのが、度を重ねる毎に少量てはきかないから段々と量を増し來るのである、此時には既にアヘン中毒にかゝつて居るので、煙草も同じ事て、初め一服て爽快を覺えたのが、二本三本と増して來て恐るべき中毒を受けて居るとも知らずに、手を離す事が出來ぬ迄に喫煙するのである、このニコチンの中毒は、アルコールのそれほど强大てないから、また比較的その中毒が少ないから、人は一本位の煙草はなんてもないと思ふのであるが、なか〳〵さうてはない、僅か一本ても輕微ながらも人身に害を與へるのである。

○ニコチンは第一に心臟を犯す

さてニコチン中毒の症狀は如何てあらうかと云ふに、第一に心臟を犯し爲めに脉搏狂ひあるいは時として絕える如き事がある、それが段々と增す中には、心臟病に罹つて遂には僅か初めは一本の爲めに、貴重なる生命を失ふに至るのである。

なる程食後や疲れた時に、ア、一服喫みたいと思ふ、然し其瞬間にそれは汝の生命を奪ふものであると思ひ付いたならば、誰れも我慢をいたす事てあらうが、旣に中毒にかゝつて居る人はなか〳〵それ丈の克己心がないのである、私は歐洲に留學いたして居る頃禁煙したが、それは害になるからてはなくて經濟上からてあつた、處が歸朝してからまた喫煙し初めた、一體ニコチンは人の體質に由つて中毒の强弱がある、私はひどく其中毒を受ける方て、外國製の葉卷など半本位喫つても、すぐ眩暈を感じた、其頃どうも心臟のあたりが重くるしくて、何だか心持惡かつたので、初めて氣がついて遂々禁煙しましてモー滿三年程になります、禁煙は人にすゝめられてするよりも、自分が先づ生命はかけがへのないものだと云ふ事に氣が付く方が効があらうと思ふ。

＊　＊　＊　＊

○私の應接間にも家の中にも
一本の煙草をも置かぬ主義

自分が禁煙してから、自分の家の中には煙草を置かない事にいたした、人の生命を奪ふものだと知りつゝ、如何して他人にすゝめられやう筈はない、若し非常に煙草を嗜好する人が來訪せられた時には、御持參ならば遠慮なく喫煙していたゞかう、然しそれは恐ろしいものである、中毒にかゝつたら生命を失ふものだと申します、それがために大概の人は唾を呑んで堪えて喫煙をいたさない、この研究所ても部長を初め多くの醫員は禁煙家てある、また禁酒家も隨分にある。

昨年獨逸に參りました時、コッホ先生の弟子て私の友人のワッセルマンと云ふ人に、禁煙をすゝめた事がある、此人は大の好煙家て一日に幾本喫むか知れぬ、私はワッセルマンに云つた、お互に醫者として有害てあると知りつゝもそれを已める事が出來ないとは、そんな意氣地のないものは尠なくも日本人にはない、君も直ちに全く禁煙する事は出來まいから、量を減じていつてはどうか、若し口淋しくて堪まらない時には、お子方のポン〳〵をポケットの中にても入れておいて、其を食べて居ればよいてはないかと、其後一週間たつてから、ワッセルマンの宅を尋ねたら、夫人が非常に主人の喫煙の量の少なくなつたのを感謝せられた、梅毒菌を發明したエーレス博士などは、のむよりも煙草を食する人てあつて既に中毒にかゝつて居られた、コッホ先生なども ニコチン中毒にかゝつて居られた、心臟を犯されてなくなられたが、まさかそればかりでもなかつたてせうが、とに角も先生が有害てあると認められた時は、既におそかつた。

○煙草が口中の黴菌或は結核菌
を殺すを得ば世界の科學者は
何を苦んで其研究に腐身するか

俗間往々にして飛んでもない事を云ひ傳ふるものがある、即ち煙草は口中の黴菌を殺すと、左様な事は決し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てない、種々研究して見たが、決してないと斷言する事が出來る、況や肺結核菌に於てをやである、學術上幾多の試驗が煙草は有害無益である事を證明して居る日本の煙草は比較的ニコチンを含有して居る事が少ないから明治維新前には、餘り中毒によりて斃れた人もなかつたが、西洋物の輸入したる今日、ことに外國產を以て特意としてる今の社會には、必ず中毒を受けて居る人が多くあらう葉卷の中には多くのニコチンを含有して居る、實に恐るべき事てある。

最後にニコチンは血行機を犯すから隨つて腦をも犯かすが、それはアルコール程に激烈ではないが、兎も角も生命を重んずる人は一刻も早やく禁煙した方がよいと思ふ。（文責記者に有り）

◎酒は米の水にあらず

分析所技師　松野恵藏君

右は去る六月二十五日第四土曜日の例會に於て、當支部會員東京分析所技師松野恵藏君の演說の大要なり。

氏は先づ禁酒によりて得たる利益を擧げ、禁酒せざる以前ならば、漸く一つしか出來なかつたらうと思ふ責任あるしかも頭腦を使役する業務即ち、ライオン齒磨製造工場技師、東京分析所技師、藥劑師の業務經營、此の三の仕事を兼勤して朝より深夜に至るまで働いて居るにも係らず、少しも身體に異狀なく益々健康となるは禁酒禁煙の賜と固く信じて居り又人にも勸めて居る、然るに或る一部の人は酒はそんなに毒になるものではない、なくてはならぬ所の米から造つた所謂米の水ではありませんか、と斯る議論は中々ある樣です、此れは吾々禁酒家及び禁酒を奬勵して國家の爲め人道の爲め働いて居る人々は廣く云へば社會の爲め是非明かにせねばならぬ問題です、故に今日は此問題を提出して諸君と共に研究致したい、と云ふ立場より米と酒とを分析せる結果を表に示したり

米と酒成分比較表

成分＼種類	米	日本酒（全國各税務署に於て行へる四百三十餘種の分析の結果）最多量	日本酒（全國各税務署に於て行へる四百三十餘種の分析の結果）最少量
澱粉	七七、六一	○	○
脂肪	○、五一	○	○
蛋白質	六、九四	○	○
糖分	○、八○	二、四○	○、○一
灰分	○、四五	○、四一	○、○一
水分	一四、四一		
酒精		二○、六○	一○、七○
越幾斯		九、○六	一、七九
酸類		一、八○	○、一四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

リリン		二、五七	〇、一〇
糊精		二、二二	〇、一〇

右は何れも百分中の分量にして例へば米百匁中には澱粉七十七匁六分一厘又酒百匁中には「アルコール」二十匁六分を含有することを示せり、以下之に同じ、

次に人が米によりて生活を保續せらるゝ狀態を說きたり、即ち米を炊ぐと云ふことは主要成分たる澱粉を糊化する作用にして、糊化せざる澱粉は消化し難し、此糊化せられたる澱粉、即ち飯は口中に入りて咀嚼せられ、其時口中より分泌する唾液中には「チアスターゼ」等の無生醗酵素なるものありて、之を糖分に變化せしめ、始めて米の澱粉が滋養分と變化す、又脂肪、蛋白質等は胃中に入り「ペプシン」等の種々なる無生醗酵素の爲めに可溶性とせられ、更に是等は漸次腸に下り腸の中に存在する物質の働きにより益々消化せられ、滋養物は悉く可溶性となる、此口、胃、腸の中より無生醗酵素を分泌する働きは、非常に巧妙なるものにして、若し美麗なる食器に、さもおいしさうな料理を諸君の前に提供せらるゝならば、幾ら「たしなみ」ある諸君にても、唾を飮み込むの止むを得ざるに遭遇するなるべし、之れは目や鼻が第一に腦に傳へ、腦は各機關に命令を下し、其食物を消化せしむべく準備するが故なり、食物は立派で美麗て美味なるほど、目や鼻は腦を多く刺戟するが故に、人は滋養物を巧妙に料理する必要あり、斯くて消化されたる滋養物は、腸の薄き强靱なる膜は恰も濾過器の働をなし、滋養物と粕とを立派に濾し分ける、此濾過せられたる物質は血中に吸收せられ體内を循環し組織を養ひ、或は組織中の廢物を洗ひ取りて肺に入り、肺が呼吸によりて空氣中の酸素を取り炭酸を生じ、同時に溫度を起す、人の體溫即ち是なり、又一部の血液中の廢物は水分と共に尿となりて體外に排出せらる、而して腸に殘れる非滋養物は大便となりて排出せらる。

次ぎに酒は如何にして造らるゝや、人が米を食すると同じく『サシカロミチエス』と云ふ黴菌が米の中に繁殖することに依つて造らるゝ、即ち米を蒸して澱粉を糊化し、麴を加ふ麴の中には『チアスターゼ』を多量に含

有するが故に澱粉を糖化す（人は唾液中の『チアスターゼ』を應用すれども『サッカロミチエス』と云ふ黴菌には此力なし故に麴の力を借りる）次に酒母を入る、此の酒母は即ち『サッカロミチエス』と云ふ黴菌にして糖分を分解して『アルコール』を造る、醸造學の大家パストール氏の説によれば糖分が酒精に變化するは醱酵菌の生理的作用に外ならずと、此黴菌は其形楕圓形にして其大きさは日本の尺度にして一分を更に千分せるものと同じ、即ち非常に微少なるものなり、是れが糖分を含有する液中に入り温度二十五度位に至るときは非常の速度を以つて繁殖し、即ち人間が米を食するが如く黴菌が米を攝取して自己の營養となし排泄物としては炭酸を呼出し、酒精を分解す、而して「アルコール」の發生量多くなるに從ひ、繁殖力減少し、一定量に達する時は繁殖力非常に微弱となる、即ち酒の醱酵の終りとなる、若し「アルコール」が滋養物であるならば、黴菌は酒を呑んで更に大に繁殖せねばならぬが、黴菌にさへ酒は毒である、要するに分析表に示す如く酒の中には人間の滋養物となるべき澱粉、脂肪、蛋白質は少しも含有することなく、黴菌が是等を自己の滋養物として攝取し而して繁殖し、却つて黴菌さへも非滋養物として排出する酒精を多量に含有す故に米は人には缺くべからざる營養品なりと雖ども酒は飲むべからざるの一種の毒物なり、語を換へて之れを云へば、即ち極端に云へば、酒を飲むと云ふことは米の水を飲むに非らずして黴菌の分泌物を飲むと云ふことになる尚ほ露骨に云へば『サッカロミチエス』の小便を飲む人ではないかと思はる。

而して酒の人間に害あると云ふ生理的説明は、諸博士の御説に委しいから、玆には略して只一つの定説を申上げて置く。

無生醱酵素（ヂヤスターゼ又ハペプシネ等ノ如キ）は不消化物を變じて消化し易き滋養物となし

有生醱酵素（各種ノ醱酵菌ノ如キ）は滋養物を變じて非滋養物となす

此定説によりても酒は非滋養物即ち有害物であること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を證明さるゝと說き、氏は更に病因菌の一般を說明し、人身の各傳染病に犯さるゝや其多くは『バクテリヤ』其物よりは『バクテリヤ』の排出する分泌物一般に之を『トキシン』と云ふ此『トキシン』の中毒によりて心臟其他の機關を犯され、其れによりて死に至る、酒の中の『アルコール』は即ち害の程度に多少の相違こそあれ、『バクテリヤ』に於ける『トキシン』と同一の理由によりて分泌せられたるものなることを思へば假令一滴たりとも口にすべからざるものなりと說き最後に禁酒會の事業の有益なることを述べて壇を降れり。（演說轉載）

家庭欄

○兒童の禁酒禁煙に付て

伯爵　大隈重信君

物に權衡がある通りに、社會には秩序がある此調和がとれず、秩序がなくなつたならば、それは實に憂ふべきである、社會の秩序は、矢張健全圓滿なる家庭によつて保たれて行くのである、もつと少さく云はゞ一個人の人格が其基礎となつて居るのである、何にも六ケ敷い事を云ふの必要はない、誰も國家の幸福を希ふものは、宜しく個人の性格を高める事に努力せねばならぬ、第二の社會を造るべき少年青年の人格を造るのは今日の急務である、アルコールやニコチン中毒に既にかゝつて居る人は打ち捨てゝ置くがよい、これから社會を造らふと云ふ若き人々には充分禁煙禁酒させねばならぬ、立派な人格を造る上から云つてもどうしても禁酒の必要がある、禁煙させねばならない、長命を保つて社會に大に貢献せんとするには、健康に害なるものを絕對に打ち捨てなければならぬ、それには手近な處から矯めて行かねばならぬ、されば一家の家長たるものもまた學校の教師も此點にかんがみて、未成年者の禁酒禁煙に骨を折つて欲しい、學校と家庭と聯絡を付けて、飲酒喫煙の害をとき、內外共に力を盡して之の爲めに盡力する事は實に大切の事て、また此の如き事を勵行せんとする人々には、社會は充分に同情を表

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して、好結果を見るやうに助くべきである。（文責記者にあり）

○禁酒につゐて（演說の一節）

島田三郎君

禁酒の勵行には法律よりも一家の主婦の力を要す

禁酒運動は單に一團體の運動ではなくて、實に世界の大問題であると思ふ、昔は酒を飮んで憂悶をはらすとしたが、今日では科學的に凡てを研究して、酒は人間を養ふものに非らずして、一種刺戟力の强きものであると云ふ思想を人間が持つて來るやうになつた、忝なくも天皇陛下の賜つたる天杯を戴くにも、飮酒いたさない者は儀式丈にしてよろしいと云ふ有難い仰を出だされるやうになつて、兎も角も斯樣な時代に至つたのは慶すべきである、今の處飮酒によつて社會が、どの位の迷惑を受けて居るか、ことに家庭に於て、また婦人自身に於て、これは例を擧げて云ふまでもない事である、近來未成年者禁煙の法律の如く、禁酒の法律を設くる運動も起つて來た、斯樣な法律はあつてもよろしいが、それより功績の擧るのは、婦人が其間の消息を充分に解して、熱心に其子女を訓戒し、家庭の改善は我が責であるとの確信さへあれば、慥かに思想身體とも健全なる子女を養成する事が出來るのである、男子は外部の運動には大なる力があるも家庭に於ける力は慥かに婦人にあるので、法律を以て未成年者の禁酒を促すよりも、より以上の勢力があると私は確信して居る、此の社會の潛勢力たる一家の婦人が今一層酒害煙毒の恐るべきを思つて、熱誠以て子女を敎ふれば禁酒運動の効一層に著しい事であらうと思ふ（文責在記者）

○都鄙子女の特長

嘉悅孝子

△一ッは伶俐にして執實ならず

△一ッは質朴にして働く事を誇らす

都會の子女と田舍の子女との特長で御座いますか、まあ私共の樣に澤山娘樣方を預かつて居りますと、都出

とか地方出だとか云ふ隔を覺えないやうて御座います、ことに行々は商業に從事するとか、またじみな生活をいたさうと志す方々が重て御座いますから、比較的虛榮心なども、他の女學校の生徒樣方より少ないかと思ひます、强て申しますならばどうしても都會の女子は敏捷てあるかわり、どこかに輕薄なところがあるやうに思はれます、地方からくる女子は勿論氣がきゝませんが、餘程眞面目なやうて、卒業した後ても働く事を誇といたして居ります、ことに九州の人は、餘程克己心が强いやうてす、總じて地方の人は執實てやり通すやうに思はれます、何にいたせ都會の空氣には奢侈虛榮の不健全な分子が混じて居りますから、此空氣に感染いたさせないやうに當人も注意し、ことに親たるものは充分に警戒いたさねばならぬと思ひます、また地方から出てくる人々も、此點には覺悟して充分引きしまる事が大切てあると思ひます（文責在記者）

○家庭衛生

襟卷は寒冒に大禁物　北里博士

モー霜がそろ〱降り初めると、男でも女でも襟のあたりに西洋婦人の頭に冠むる樣な物て、襟を卷いて居るのを多く見受ける、多分風を引かぬ豫防てあるかも知れぬが、却て風を引く原因を作つて居るのてある、習慣上襟のあたりにうす寒い風があたつて、布片て包めば何だか安全に思ふ、ところがそれは頸の皮膚を柔弱にさせるので、衛生上非常な害をなすので、少し寒い日に肩掛なしに外出てもして、風を引くなどは全く皮膚が弱くて、それが爲めにすぐに喉頭を犯して寒冒になやむ樣になる、されば常に朝冷水を以て喉頭部のあたりを摩擦して段々皮膚を强くいたすならば外へ出てもめつたに風を引くやうな憂はないのてある、肩掛や襟卷などて頸のあたりに着物をきせて置くなどは、全く誤つたる衛生法てある、其時期も近づいて來たから、今より朝に冷水摩擦をして、風を引かぬ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秘訣の一ッは、襟を卷かぬ事である事を世の人が承知する樣になる事を望むのである(文責記者にあり)

ストラウト女史を送る

顧れば四十一年の櫻花既に散つて、若葉の香のなつかしい五月の一日の事であつた、待ちに待つた、萬國婦人矯風會派出員なるストラウト女史を、春の海穩かな横濱埠頭に迎へましたのは、聖坂のほとり近く品川灣に面したる、フレンドの校堂に、女史との交誼を結びて共に主義の爲めに、助け助けられんと契つたのは未だ夢の間であつた、爾來女史は異なれる氣候と慣れざる風土の爲めに、半年の不眠症になやまされたが、一日とて病褥に親しむ事もなく、只管矯風主義の爲めに東奔西走せられた、女史が日本に在られた年月は必ずしも長いとは云はれぬ、此間女史が運動活動せられたる箇所は北海道を除くの外、汎く其足跡の至らぬ處なしと云ふも決して過言ではあるまい、女史は實に謙譲溫厚な眞の淑女であられた、偶々外國婦人に見る樣な獨斷的な行爲は一つもなかつた、私共は寧ろ女子に於て日本の婦人に類似の點を多く見出して、一入したはしく思つた、如何なる細事であつても、女史は日本に在る間は日本人としての働をなしたい、されば凡てを會頭の諾否を得て決行せられた、ことに女史は學術の蘊奥を極め圓滿なる修養と、綽々たる餘裕とを其內に存せられて居られたから、一度壇上に立つて、其主義を鼓吹せらるゝや、人をして思はず嘆賞せしめ、進んで其主義に同化せざれば已まざるの一種の力を持つて居られた、之れが爲めに今や敎育界に於て著るしく、我等の主義を加袒せらるゝ人が多くなつた、女史はまた至る處に於て新支部を組織し、或は基礎を固められた、其功の大なるは一々玆に擧ぐる暇も出來ない位である、斯の如き善良なる敎師をはしなくも故國に送らねばならぬ事は、實に私共一同の大なる苦痛と損失である、然し女史の殘されし事業は決して空しくならない、また天は他の方法を以て私共を保護して下さるて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あらう、哀々禁ずる能はざるものは別離の情である、女史に見ゆるの日はまたいつてあるか、さはれ同じ主のみもとに、兵士となり居る我等はもつと幸福なる處に於て、必ず再會し得るを思へば、徒に胸を痛める事は却て罪てあらう、女史は之れより故國の壇上に立て主義の爲めに大奮闘をいたされんとして居られる女史が身神の永に健全ならむ事を祈ると共に、女史よ我等もまた君が教へし其熱誠と勇氣とを以て、主義の爲めにまた逢ふ日まで勵みます、されば心安ふして海にも陸にも恙なく故山に歸られよ、神は在さゞる處なし。

内外通信

○本部

九月七日午後二時フレンド教師館に於て臨時協議會を開く、出席者委員として矢島、井深、横倉、ストラウト、エリス、バンファーンドの諸姉議決せし件は

一秋期大懇談會を十月第二若しくは第一の土曜一日間に開催する事
二會場は麹町區平河町日本キリスト教會に於て
三接待係、招待係、順序執行係指名
四禁酒會を代表して根本代議士を招聘する事
五教會を代表して小崎弘道氏を招聘する事
六其他音樂委員を二三名設くる事

右終りエリス氏の厚意になれる茶菓を喫して散會せしは午後五時なりき

○九月十二日午後三時より女子學院に於て、常置員會を開く出席者、矢島、小崎、井深、横倉、ストラウト、根本、竹中、守屋、水野、鈴木、安中、中澤の諸姉

前回記録朗讀可決の後、會頭はストラウト女史歸國の件につきて述べられ、それより秋期懇談會執行の件につきて數ケ條可決、水害罹災民救助の報告なほ第二回救濟寄贈品を募集する事を決議す

會頭の懇なる饗應の後ち、根本、小崎の兩姉、本常置員會を代表して、二令息の大疾患に疲れ居らるゝ本多副會頭を慰問せん爲め、委員の寸志をもたらして暗を侵かして右姉を訪はる）

越へて十九日午後三時女子學院に於て、臨時常置員會を召集し慈愛館並に愛憐社事業の發展と、活動とを計らん爲め、ことに水害に際して幾多可憐なる女子の前途を救はん爲め、玆に慈善演藝會を開催せん事を協議す可決せし件

一小公子(家庭演劇)を十月七日八日當日に開催

場所は有樂座に於て

二發起者を募集する件

右終り散會せしは夜に入りてなりき

十月一日午前十時より、平河町教會堂に於て秋期懇談會を開く、霖雨晴るゝ望みもなく、窓外轉た寒を覺ゆるにも不係、會員諸姉の集ふもの七十餘名、午前は矢島會頭の司會にて、祈禱會並に鵜飼パンフアインド兩氏の奬勵大演説ありたり、各自携へし思ひ／＼の晝餐を談笑のうちに終り、互に親睦をかはしつゝ午後一時より、五分間演説並に質問討議に移る、演説質議のあいま／＼に、玉をまろはすが如き美妙なる、獨唱を以て、あるいは靜にあるいは高く人をして、夢の中にあらしむるが如き奏樂を以て、集會に一層の光彩を添へられし、會員諸姉の盡力はことに爰に謝する處なり、ことに初めて試みし、質問討議の結果案外良好なりしは、嬉しき限りにてありき、互に益する處多く玆に散會を惜しみ各自歸途につきしは午後五時なりき

○大　坂

地久節祝賀會並にホーム三周年紀念會

五月廿八日午後二時より中之島公會堂に於て開く、司會者馬場夫人奏樂を以て始められ聖書朗讀につぎ早川牧師開會の祈禱を捧げられ司會者開會之辭を述べらる。

次に長田牧師聖書の一節を引き祝辭を述べらる大要は「本年は誠におめでたき御還暦の地久節なれど例年よりも一層喜び祝すべきである、國母陛下の御德は今更喋々述ぶるまでもなけれども時々下し給ふ御歌を拜して感泣にむせぶ事多ければ其三四を示さん

天地の神の心にかなふこそ
　人は心のまことなるらん

まごゝろ

むらさきの心にとひて耻ざらむ
　世の人事は如何にありとも
あら玉の年の光によろづ民
　いよいよみがけ天地の道

廢藩置縣の時

いつくしみ廣き御國にすむたづは
　もとの澤邊もおもはざるらん
あさしとてせけばあふるゝ河水の
　心やたみの心なるらん

日露戰爭の時

たゝかひのかちしたよりをきくごとに
　みいくさ人の身を思ふかな
國の爲心つくしてかち戰
　祈るもうれし下の下まで
大宮の火桶のもとも暗き夜に
　みいくさ人は霜破るらん

尚陛下の玉詠を申上ぐれば數限りなけれども右數首の御歌を拜しても陛下の御心を伺ひ奉られるのである、吾等はその博愛仁慈の陛下を國母と仰ぎ奉るは實に幸なれど陛下を手本とし德をみがき本分をつとめねばならん」と述べられ皇室の爲熱誠なる祈を捧げらる、ウォルミナ女學校生徒諸孃は讃美三百七十番國の祝を美はしく合唱せられ地久節祝賀會を閉づ

引つゞきホームの紀念會にうつるミスラニングの獨唱につぎ司會者云く高崎教師は本日内務大臣來坂に付隨行せられ本會へも來られず殘念ながら左の祝辭をよせられければとて代讀す

祝辭

本日を卜し大阪婦人ホーム三周年紀念會を開く顧ふにホーム開始以來纖弱なる婦女を誘掖提撕し適當なる職業を紹介し之を保護せる者一千餘人の多きに達し社會の爲め裨益する所尠からず洵に欣ぶべし望む

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らくは當事者諸氏益々奮勵以て目的の遂行に努力せられんことを一言を寄せて祝辭とす

明治四十三年五月廿八日

大阪府知事
從三位勳一等　高崎親章

次に後藤市長代理にかわり大阪市書記山本貞次郎氏の祝辭を代讀せらる

祝詞

大阪婦人ホームは明治四十年の創立にかゝり今茲に恰も其三周年に相當せるを以て本日の吉辰を卜し茲に紀念の式典を擧行せらる洵に欣喜に堪へざるなり抑大阪婦人ホームは創立以來日尚淺しと雖も世上幾多薄命の婦人を保護して自活處世の道を得せしめ社會公衆の爲に貢獻せる所決して鮮なからず曩に内務省が本會の事業を嘉賞せられ參百圓の奬勵金を下附せられたるもの蓋故ありと謂ふべし今や本會の三周年に該り會員相謀り財團法人を組織して一層其基礎を確立強固にし益々斯業の爲に盡瘁せられんとす惟ふに擧世名利に奔走し人情日に非なるの秋に當り諸氏の奮然崛起して博愛人道の爲に努力せらるゝあり眞に邦家の爲に慶賀に堪へざるなり冀くは會員諸氏益々拮据黽勉以て本會をして盛美の極に臻さんことを本日此式典に列し感ずる所あり聊か蕪辭を述べ祝詞とす

明治四十三年五月廿三日

大阪市長代理
大阪市助役　後藤玉城

小山健三氏にも發會演説せられん事を願置きしが同氏も亦差支の爲書面に祝辭をそへ送られければ司會者代讀せらる

婦人職業問題が漸く世人の注意を惹く時に際し曾て婦人ホームを建設し茲に第三周年の紀念式を擧行せらるゝは余れ等の最も慶賀する所なり

余れ等建設者に對し當初の目的を變ずることなく着實に穩健に其發達を希圖し大切なる婦人職業問題に對し一部の解決を與へられんことを切望す余れ等は更に林歌子女史及其他の役員諸氏が其熱誠を捧げて今日あらしめられたるを謝し併せて將來當然遭遇すべき幾多の障碍に打勝ち有終の美を收められんことを希望して已まざるものなり

明治四十三年五月廿八日

小山健三

續いて八十有餘の老體を以て慈善事業に盡さるゝ山田俊郷翁の祝辭あり在阪外國人代表としてミスプール熱

誠に同情に滿ちたる祝辭を述べられ青山孃通譯の勞をとらる

記念の爲めウヰルミナ女學校生徒諸孃讃美を歌はる林會頭感謝に併せホームの概況を談らる

過去三年間ホームにて世話せし者千百卅三名にして内百名ばかりを救濟するを得しは幸なりまた開始以前より案じたる如く要求せらるゝ方多く應ずる者少きを遺憾なり且數百の會員に重荷たりし八千有餘の金額も會員諸姉の勉勵と市内有志諸氏の厚き御同情を蒙り昨夜にて全部返濟するを得たるは本日の此紀念日に一層喜ぶべく感謝すべきことなり

さきに内務省より下附せられたる三百圓の奬勵金もあり有志者諸氏に對しても此後の責任を益々重きを覺ゆるなり會員共に相つとめ相はげみ此厚き御同情に答へまつらん

と壇を下らる

東京本部より今日の盛會を祝すとの送電ありたり

一同起立君が代を三唱し長田牧師の祈禱を以て閉會す

コレル夫人は櫻井より來りスヰートホームの一曲を獨吟をせらる美はしき御辭にて眞にスヰートホームの味を感じられぬ

一同へ紀念の扇子を分ち別席にて茶菓を喫しつゝ親睦しいづれも滿面の笑をたゝへ生憎の雨も物とせず反つて惠の雨と感謝し三百餘の姉妹は五時過散會す

本日の裝飾は曩日開かれし海軍紀念會の其まゝを受けし由萬事好都合なりしと林會長は語られたり

昨年來種々の催をなして尚四千有餘の借財を負ひ居りしも内務省よりの奬勵金を得て後左の趣意書を作り有志者の同情を仰ぎ前述の如く廿七日夜全部返却する金額を與へられしは一同の祈りと會長始め熱心なる會員諸姉殆んど寢食を忘れて勞をおしまず盡力せられたる結果と感謝に堪へざるなり

趣意書

大阪婦人ホーム

慈惠救濟の事業に關して從來盡力する所少なからず今後尚一層の勉勵を以て其の効果を收めむことを望む依て玆に金參百圓を下附す

明治四十三年三月廿六日

内務大臣正三位勳一等法學博士 男爵 平田東助

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人ホームのために訴へまつる

大阪人ホームは明治四十年地久節に開始なせし以來所々より便り來りし婦人は一千百二十三人内七十二人は逃亡し來りし者を保護して其國許へ通知して其親許へかへしまた親の承諾を得て之を適當なる働きに向はしめたり彼等のホームへ來るは途中或は梅田停車場川口埠頭にて初めてホームを敎へられて來る者多し時に親切なる梅田の車夫が導き來ることあり警察よりは市內に彷徨せる若き婦人を引き渡され夫〻世話をなして全く別人の如くなりて今働きつゝあるものもあり又旅費を與へて國にかへしたるもあり其數廿一人開始以來手にかけて之を適當なる家庭奉公會社銀行病院等へ紹介なしたるもの六百八十人現在市內に奉公中の者百十一名設立以來の成績は內務省にも認められ今回三百圓の奬勵金を下附せられしは深く光榮とするところなり此ホームは中之島六丁目停留所の前に居を占め敷地八十三坪家も適當なる構造にして間數十五間開始の際家屋を購入し之に附帶せし費用を合せて金八千七百餘圓に達せり今日までん受けし市內有志の同情に會員の寄附を合せ尚二千餘圓の不足あり來る創立地久節滿三年の紀念を期して殘れる債務を果して財團法人の基礎を確立し愈人道のため社會公益のために微力を捧げんとす願くは大方の有志微衷を諒し御同情を寄せ給はんことを　敬具

明治四十三年　月　日

大阪婦人矯風會

六月十二日（土曜日）午後二時より浪華敎會堂に於て花の會を開く、司會者杉田夫人讃美聖書朗讀開會の祈禱の後、杉田牧師の御話ありたり、同牧師は數日前より御病氣のため臥床同日も尚先刻迄やすみ居られしもかねてよりの御依頼に俄に斷るもと病をつとめて來會せられし由一同感謝して日頃の御感話を承る

同情、慈善といふ事は近來著しく發達して一地方におこつた震災、火災なども遠く他地方より同情をよせられ救濟につとめまた外國よりなぐさめられ、なぐさめを與ふるやうになつた事は喜ばしい事であるがまだ眞の慈善同情といふ事は行はれ難く多くは裏に虛榮心とか名譽心とかゞついて居るやうに思はれる、それであるからあらはれた慈善などには隨分力を入れる者もあるがかくれた同情すべき者等こそかへりみる人が少ない聖書にも敎へてある如く「ほどこしをなすにらつぱをふく勿れ」「右の手にてなしたる事を左の手にてなす勿れ」などはあらはれた慈善をせずにかくれた慈善をせよと敎へらたたものである

アメリカの名高き詩人ホイッチヤーは幼き頃母に伴はれて貧しきあはれな一婦人の病をたづねた其時母人が此あわれな見すぼらしき一婦人に對して親切に同情の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

満ちたる態度を見て深く神の愛を聯想して感じ信仰ある氣高き生涯を送つたといふ事である、斯くの如く吾々これよりなす事は一小事ではあるが眞心の愛と同情とを以て病める人を慰める事はかくれた美はしい働でたしかに大なる感動を與へることゝ信じるのである、されどいと小さき働きをせずまごゝろからの愛と同情とを以て病める人々を慰めたいと熱心に話されたり

次に林會頭は矯風會には種々の課が設けられてあつて救濟課はホームといふ大きな働をなし母の課は年々二度集りを開いて母の爲有益なる思想を知名の辯士を聘して承り軍人課は戰時には兵士に對して慰めを與へ年々數回兵營內にたづねて福音を傳へ教育課風俗課は共に活動して禁酒禁煙の演說會を開きまたウキルラート孃の紀念日にも日々の力數十冊を各中學校女學校々長に送り其他の課も有益なる働をなしいづれも好果をおさめつゝあり其他の課も最も適當なる課長を與へられて絶えず課長は自ら市內各病院をたづねられて美はしい働をして居られるが一年に一度會員總がゝりて病人を見舞ふのが即ち今日で其故はカセラー孃といふ御方が起居に不自由な身になられた時送られた花にいろ〳〵慰めの聖句を認め花に其カードを添へて同じく病める人々を慰められた其紀念日である

精神と肉體との關係は大きなもので醫師がこれはと手をはなされた難病も精神の作用により全治したといふ事は珍らしくない二三日前に我博愛社に來られた一婦の話は實に不思議な神の攝理であるとて談らる

課長の苦心にて美はしく飾られたる紀念日とて撮影す

次會の報告本部大會につきての報告等あり卅三番の讃美を歌ひ會頭の祈禱を以て閉會す、一同携へ來りし花と課長が用意せられし花とを竹筒に入れ慰めの聖句カードをつけ慈善病院、衛戍病院、大阪病院または知己に自分の健康を感謝して病める兄弟姉妹をたづね今日の惠を分ち慰む

來會者七十餘名ありき

○靜岡

九月九日山家會長宅にて役員會を開き例會の相談をなし散會

九月十六日午後一時半より英和女學校に於て例會を開く同日は靜岡ホーム松井豊吉氏みなし子と云へる題の下に凡二時間餘に渉る左の目次により懇切なる講話あり多大の同情と感興とを受けたり集會者二十餘名四時閉會

歴史上より見たる孤兒　文學上より見たる孤兒　孤貧兒救濟の原理　孤貧兒の經歴　孤貧兒の生活　同性質の心理的研究　孤貧兒訓練の結果　同教養法　靜岡ホームと社會同經營上の主義及び方針　婦人と孤貧兒事業

九月二十八日午後七時より近手町メソデス教會堂に於て萬國婦人矯風會派遣員ミスストラウト女史の演說會を開けり山家婦司會し聖堂朗讀城婦の捧謝に次て女史は杉本通譯と共に壇に立たれ約一時間餘に渉る有益なる講演ありたり要は惡習慣を脫破するの困難なる事より說き諸方面より熱心に我主義の精神に付說かれ終りて入會者を勸誘されたり降雨の爲め來會者百名前後なりしは遺憾なりし女史の來靜は重に中等諸學校學生に矯風の主義を鼓吹され千餘の男女學生に取りて多大の益を得し事を信じ女史の勞を多とするものなり

十月第二土曜(八日)午後一時半より英和女學校に於て例會開く山家姉司會祈禱山崎姉聖書朗讀次て城ノブ子姉神戸婦人教役者修養會に出席され靈的大に惠まれし雜感を語られ會員に警醒奬勵を與へたり茶菓の後閉會四時

來會者十九人　當日新入會一名

○豐津

六月十九日午後二時より矯風會の例會を同好俱樂部階上に開く會するもの七名先づ會長　末永姉前會の報告及び會計の報告をなし引續き會　長及會計兼書記桝富

姉辭任に付後任者選定の件を協議せしも當時會員少く適任者なきを以て暫時此儘に繼續留任を願ふ事に決して此議を末永姉及桝富姉に計る事にす
末永姉も會員一同の意向により已むを得ず留任を承諾せらる桝富姉は病氣缺席なれば會長より其意を通ずるとせり
倘前會に於ける就學兒童貧困者へ學資補助の件は旣に當路者に就き調査中なるも未だ本會の資力乏きを以て此際會員各自奮勵會友の勸誘をつとめ會の擴張を計り基礎を鞏固ならしめたる上にて改めて着手し時機を俟つとせり時恰も三時過定近氏野原氏と共に出席せらる席定るや定近氏（時事に感ず）と云ふ題にて一場の講話あり其要は近來日本に於ける社會主義者の發生は時勢の產み出す精神病者にて餘義なき次第とは云へ警戒を要す畢竟家庭教育の缺乏より來る執拗者なれば宜しく家庭教育の當局者たる主婦は周到なる注意を要すと說き猶各國の風土風俗に押移り日本の如き殊に長府の如き氣候風土の淳良なる所に住するの幸を感謝すべきなりと局を結べり時は四時貳十分茶菓の饗應あり次會は七月に開くべき筈なれども暑さの時季會員諸姉も旅行其他にて不在の方多ければ何れ秋冷の季を待ちて開會するとにし五時散會せり

○門司

當會は六月拾壹日午後二時より東本町本會事務所に於て臨時總會開催す事故の爲會するもの九名平山夫人司會の下に開會す
平山牧師は婦人矯風に關する有益なる一場の講話をなて終て今後新入會員募集の方法及當市に最も適當なる事業等に付一同胸襟を開き種々談合の結果最急の働きとして密航婦の喰止策に一同贊成實行を約して後役員改選を行しも參會者半數以下なりしを以て兩三日中更に集合の筈に決定す

役員滿期改選の結果左記決定

會長　平山千代子

副會長　後藤留子
記錄書記　太田春子
通信書記　高木雪子
會計　作中近子
以上

新入會員三名

追記長安都留子姉は客月宇品に轉任に付退會せり

宇都宮會例會

朝來の雨午後に至りて一しほ烈しく集會の諸婦も定めて少なき事と案ぜしにも不拘、十七名の愛姉相見ゆるを得しはうれしかりき

會長のライ師の司會にて讃美歌聖書朗讀に次ぎて副會長木村老姉の祈禱あり再び讃美の後中村姉の講話あり要は婦人の責任および勢力に付き種々なる米國婦人活動の樣などにて一同裨益せらる次ぎて書記の報告あり會員大塚姉の盡力によりて青森大火災に付當矯風會より寄贈せし品物に對する青森市長よりの謝狀を一讀して退席

會長の發議により七月十二日より同十五日まで東京市芝區三田フンド女學校に於て開催さるべき矯風會大會に出席すべき代員を選ぶ其選にあづかりしは渡邊姉なり猶本月中頃當地に於て開催さるべき岡山孤兒院演藝會のためにも會員一同は應分盡力をなすべき事を約し讃美歌合唱し主の祈禱を以て閉會時に五時半雨もはれ梢の新綠露を帯びて一陣の微風にバラ〳〵と散る

十月一日午後三時

梧桐一葉散りて天下の秋を知る夕風肌寒き十月一日婦人矯風會例會をフライ師方に開く集會諸姉十二名、定刻に至りてフライ師の司會の許に開會讃美祈禱に次ぎて書記大會出席模樣の大略及び其集會に於て與へられたる惠の幾分を述ぶ會計の報告あり會長の發議により當會より栃木縣下水害罹災民に對し金十圓を同日其筋の係員に依賴して寄贈す猶次回の集會に於てフライ師の指導によりて酢の製法を研究すべき報ありて一同散會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時に四時半迹日の雨のこりなく晴れて夕陽西山を彩るを見る

新刊紹介

グリシヤの天使ナイチンゲール

村田諦先生著

代價五十錢　警醒社發行

本書は慈愛の化身として一世の尊敬と榮譽を一身に負はれしナイチンゲール孃の家庭生育より事細かに平易にしかも親切にものせられしものにして誰れにても讀み易く且つ家庭の讀物としては特に推薦すべき高尙なる書物なり我等は此書によりて益々慈愛の尊を悟り自ら其人たらん事を希ふの情切なるを覺ゆ

○ヤングメン女史の長逝を悼む

秋既にたけて萩の上葉誘ふ風の哀を深うする折しもヤングメン女史の訃に接し、感慨轉た切なるものあり顧れば女史が妙齢の身を以て、單身波を蹴つて婦人傳道師の率先者となづて、我が國に來られしより今日に至る廿餘年、其間女史が唯一の生命は、傳道と慈善救濟事業にてありき、いてや女史が殘こされし、勝利の生涯の一二端を記して、思ひ出の慰みにもなさまほし明治十六年の頃女史は故ツルー夫人故ピヤン女史並にスペンサー女史等と、妹等に計りて、皇后陛下の御佳辰を祝して聖書を捧呈し、つぎて地久節祝賀の大祈禱會を催さん事を主張せらる、今が全國に渡りて地久節を祝し奉るに至りしは、女史の力與りて力ある事なり、また慈愛館事業と、京濱婦人祈禱會に將た國家祈禱會に身率先して主張せられ、世にある間その爲めに、病をも厭はず盡されし其功や、拙なき筆の如何てか盡し得べき、あはれ女史は今や、天命を果してとはの安き眠に入らる、げにや女史の死は悲むべきものに非ずして、喜び感謝すべきものにてあるなり、さはれ別るゝ事の痛ましきは人の常なり、妹等は爰に女史の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

長逝を悲しむと共に女史が殘されし生ける教訓に勵まされて、主のわざを盡さまほし、爰に謹で蕪辭を陳じて弔辭に代ふ

○水害罹災民救濟寄送品報告

一金七十圓六十五錢　大阪支部寄附金
一衣類數十點　横濱雪野夫人
一同　一包　芝支部阿部夫人
一同　十一點　靜岡縣引佐郡氣賀町日曜學校生徒
一手拭五十四筋　江原素六君

○文書課より

秋の夜長のつれ〴〵机邊讀書の好時節と相成り候折から私共貴樣方の御書齋内へ是非共御案内申上げ度き書冊三部ばかり有之候「日曜日の山遊」「幼稚時代の教育」並に「禁酒演説集」之にて候はじめの二書は皆樣かねてより御存じの風間政子姉の堪能なる御譯にものされしものに候へば其内容の説明は今更私共の足らはぬ筆の力を要せずと存じ候

「禁酒演説集」は收むる所演説二十八番簡易にして而も至極面白き話に御座候懸賞文學會の興味深きは申上ぐる迄も無之御承知の事と存じ候へば新演説集出版の此際益々同會の振興を御はかり下され度く、それと共に同演説集續々御注文下さる樣御願ひ申上げ候

尚私共弱き者ながら極力不健全なる書類の人心を腐らせ行くを打防がん決心に候へば皆樣にも何卒御力御借し下され度くこれまた御願申上げ候

書類御注文其他當課への御通信は凡て東京麻布區鳥居坂東洋英和女學校内水野菊或は安中花に御宛て下され度く候

但し、該册子定價各々金四錢に候

青年部欄

○麻布英和女學校青年部

九月二十一日岩崎會長司會の下に第八十一例會を開く當日は差したる議事もなく去る七月の大會に派遣せし代員の報告にて終りぬ

出席者五十名

此度岩崎磯子止むを得ざる事情の下に會長の職を辭せられしため九月二十八日臨時會を開き後任會長の選擧を行ひしに從來會計の任に在りし手塚てる代當選せり

當日出席者五十名現任役員左の如し

會長	手塚てる代
第一副會長	マクドナルド幸
第二副會長	高木榮
會計	小澤とよ
仝助手	渥美とみ
書記	安中花

當青年部の働としては別に報告に價するものもなけれども少年禁酒課は我等が全力を盡し居る事業の一なり同じ白きリボンに結ばるゝ全國の貴姉等の弱き我等のために祈り給はらん事こそ願はしき限りなれ

○聖經女學校青年部

明治四十三年六月三十日横濱山手聖經女學校内に青年婦人矯風會を設立す本會を聖經女學校青年婦人矯風會と稱す

役員左の如し

會長	ミセスバンペテン
副會長	吉田とみ
會計	伊東つぎ
書記	日比忠

各部課長左の如し

花の課	三宮讃
安息日課	小山田すゑ
日曜學校課	飯泉きよ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

九州旅行

富士が見えしか見えざりしかさへさだかに覺えず、ちき歸る旅と思へば行く心地もせず神戸に着く、五月四日、

守屋小年課長の與に赴かるゝにより、自分はストラウト女史にさきだち共に來り、一日と半、母校に暮春の色をなつかしむを得たり、先生だちとス女史と夕の卓を共にし、ウヰカー教師に送られて乘船す、豫州丸なり、五日。

朝目ざめしは九時前、我らのよき船はうつくしき瀬戸内海を走れり、ス女史いまださめず、内海のけしきは日本のほこり、はやう見たまはずやとあせれど起き來たまはず、蒸し昨夜汽車にて一目もねむり給はざりし故なり、

浪、巖を嚙むか、巖、浪を碎くか、さはれ靜かなる事の銃菴の如き瀬戸の島山、世界の何所に汝に似たるものありや、

中食の後、船次第にはげしく搖れ來り、みな室に歸る、日向灘にかゝりしなり、七時間やすみなく右に左に上に下に搖られ通して、ス女史も自分も綿の樣になりて前九時過ぎ細島につく、六日。

七里むかふなる延岡よりわざ〳〵牧師の迎へらるゝありて、馬車をとゝのへ、十一時頃より延岡に向ふ、自分は生れて初めてガタ馬車に乘れり、上下に搖れる事のひどきこれからこれて旅とするのかと思ひて思はずぞつとせり、されど直ぐ思ひ直して其搖れる事が却て面白く思はるゝ樣につとめ苦しさを忘れたり、朝二時頃又女史がコメツト、コメツトと呼ばるゝに驚きて仰げばまことにハレーの慧星は眞紅の尾を曳きて我らの來し道にかゝれり、其後此星を仰ぎし事數夜なるもいまだ斯く赤き物を見ず、二時半旅館に就く、延岡。

婦人新報領收書　（九、十月）

一金七圓　（四十三年九月ヨリ四十四年八月迄）　小松日本キリスト教會堂
一金二圓　（四十、貳、三、四）　浦四三子
一金十一圓四十錢　（七、八、九、十月）　横濱支部
一金十一圓　（九月分）　大阪支部
一金一圓四十錢　（四十二年度迄）　小高ひさ子
一金五圓　（四十二年度前半期）　名古屋支部
一金一圓四十錢　（四十二年度迄）　恩田しま子
一金一圓　（四十三年迄）　岡田保茂子
一金一圓　（四十二年迄）　五十君とよ子
一金一圓　（四十年九月より四十四年八月まで）　横手夫人
一金一圓二十錢　（四十二年五月／仝三年四月迄會費トシテ）　三浦次代子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

徳富健次郎著

小說 寄生木

赤十字社副社長小澤男爵題辭　京都看護婦學校長佐伯ドクトル序文

廿八版　並製一圓半　特製二圓　送料各十二錢

女子大學教授　村田勤著

クリミヤの天使 ナイチンゲール

クロス美本肖像入　定價五十錢郵稅六錢

經驗は最良の日記を作れり

日本ニ於ケル日記元祖ニシテ最新式ヲ採用セル

四十四年日記 吾家の歷史

四六版　クロス革製　一圓五十錢　送料八錢

時勢に應じて大改良をしたる此日記を御覽下さい。

東京京橋尾張町　警醒社書店　振替五五参

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印刷